

日本人の価値観の違いをさぐる

山猫総合研究所代表
三浦 瑠麗

- *投票行動の理由を探る
- *自民党は国民政党
- *自民党岩盤支持は少ない
- *安保と日米同盟のみ乖離
- *経済政策は中間点
- *高齢者の現状否定
- *立憲民主党の勘違い
- *有権者の実態を誤認
- *都市型リベラルの可能性
- *ポピュリズムの危険



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は、山猫総合研究所の代表である三浦瑠麗さんにおいでいただきました。このところ毎年お話をいただいております。1980年のお生まれで、東京大学の農学部を経て法学部に移られ、大学院で法学博士を取得されました。現在は東大から離れて研究所での活動に専念しておられます。たしか『シビリアンの戦争』が最初の本でございました。それから、去年は「21世紀の戦争と平和」ということでお話をいただきました。本日は、日本人の価値観についてのお話をさせていただきますが、こういうコロナの情勢もございまして、昨今の状況も踏まえて、少し視野を広げてお話をいただければと思います。

それでは、よろしくお願ひいたします。

投票行動の理由を探る

三浦 ありがとうございます。本日はよろしくお願ひいたします。

お手元にお配りしている資料があるかと思いますが、こちらは弊社が昨年8月末に実施した日本人価値観調査2019の骨子です。そちらを踏まえた発表とさせていただきます。日本人価値観調査2019は、弊社としては初めて行った政治意識と価値観に関する調査でありまして、今後1年に1回程度、日本人の価値観と、選挙に対する意味合いをあわせて探っていくと思っています。

どうして価値観調査を始めようと思ったかと